

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス まおり

対象人数（保護者）14人 回答者数 9人 回収 64.3%

	チェック項目	満足度			ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	まあいいかな	わからない			
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2		走り回れるほど広いわけではない	施設としての広さはありませんが、体育館や公園に出掛け、身体を動かす活動を取り入れています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8		1	何人の子に対して何人の先生がいるのかは実際見てないので分かりません	重要事項説明書に記載している通りの職員配置で対応させていただいております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	2		言葉だけだと伝わりにくい子なので写真やイラストなどで分かるようにしてあります	個々に応じた支援方法を日々模索し、提供させていただいております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1				
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8		1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	9					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8		1			
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	2			
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	1	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	1		気軽に相談できる	ありがとうございます。今後も気軽に相談できる雰囲気・関係作りを努めています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1	1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	3	3	保護者同士の交流の場があっても行かないと思う	保護者の方々にも普段の活動を覗いてもらえるような活動は計画しております。(地域イベントの参加等)
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1				
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9			先の予定は分からない。今日やった内容は見ることができて嬉しい。	公式LINEのスケジュールから、今月の予定をみていただくことができます。状況によって変更はありま	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1			とても楽しみにしています	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				いつもありがとうございます 子供だけでなく親の私たちも 支えられています	ありがとうございます。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をやるのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス まおり			公表日	2026年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		高学年の児童が多くなると狭く感じるので、使用しない物などを片付けるようにしています。	次年度は低学年児童が増えるので、改めて環境設定を工夫したいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		特殊事業所と合同で活動することもあります。他事業所との交流は利用児にも職員にもいい刺激となる機会と捉え、研修も行っていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		階段が急だったり、整備が行き届いていないと感じる部分もあり、整備をしました。階段には一段ずつテープを貼り、視覚的に見やすいようにしました。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々環境設定を見直し、必要に応じて修繕や改修、清掃を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	○	気持ちの切り替えが必要になった際は、相談室を利用したり、かかわる職員を固定したりして、状況に応じて対応しています。	クールダウンする場所はありませんが、完全にシャットダウン出来るわけではないので、個々に合わせた配慮が必要だと考えています。
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○	○	計画書を作成することで、コミュニケーションを取る機会が増えているので、活かしていきたいです。	PDCAサイクルの周知がもう少し必要だと感じています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回以上の評価アンケートや、送迎時の会話の中からニーズと思われるものをミーティングの際に出し、話し合っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティング等で話し合いの機会を設けています。	ミーティングの時間をもう少し確保できると良いと感じています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		現在は保護者の方の評価と社内評価のみですが、今後、必要に応じて外部評価の実施を検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		ガイドラインを中心に、ミーティングで行っています。	機会があるなら、外部研修にも参加したいと思っています。
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HUGでの月案の公開、活動記録を使ってその日のプログラムの実施の様子を公表しています。	どんな活動をするかといった活動の内容の詳細を伝えられる方法を考えています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個々の日々の様子や気になった姿などの情報共有をし、児発管を中心として計画を作成しています。	作成した支援計画を理解した上で活動内容や、課題に向けて、支援計画のもと日々行っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリングで得た情報を日々の支援で活かすために書面化したり、ミーティング等で共有しています。	足りないと思う。ミーティングをもう少し密にできるといいと感じています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		HUG内でも支援計画を見ることができると、日々のかかわりに活かしていると思います。	支援計画に沿った支援は、人それぞれ捉え方が違うので、支援記録をもとに話し合いを行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		職員間の会話の中で毎日の振り返りを行い、その都度、個々に合った支援を模索しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別の支援計画の中に記載があるので、個々の内容を意識して支援をしていると思っています。	・ガイドラインに対する読み込みの浅さと、理解が足りず、よくわからないこともあり、ミーティングや研修の機会にすり合わせていきたいと思っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動の担当を決めてすすめています。準備や内容の確認等、意見を出し合いながら職員間で行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		偏りがないように計画しています。また、積み重ねる経験も大切なので、活動内容も難易度を上げて楽しむ中で達成感が味わえるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動を中心に活動計画を立て、また、個別支援計画に沿って行っていますが、その日の状況によって対応していけるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		計画書を児発管と確認のあと、当日に打ち合わせをし、共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	フレックス制のため、その日の振り返りが必ずではないが行っています。	もう少し詳細を話す時間の確保が必要。支援記録をもとに共有していますが、その日の出来事やちょっとしたことも振り返るといいなと考えています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		その日に気になった姿を情緒面や行動面などを業務日報内に記録し、指導計画やモニタリング等の作成に役立てるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一度、モニタリングを行っています。また、その内容も職員間で共有し、個々の支援方法を模索しています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が中心となって参画するようにしています。		

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	今年度より、並行して他事業所に通っている利用児との情報交換や連絡を取る回数を増やすことを意識しています。	現場職員からは関係機関との連携が見えにくいところがあるので、情報を回覧し共有するように意識しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	今年度からの入所児童に関しては情報共有と相互理解の動きがあるので、協力し合ってお互いの学びに繋がれば良いと思っています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	契約の際に以前通っていた施設とは連絡を取り、情報共有ができるような意識をしています。	円滑に行えているわけではないので、今後、こちらから積極的に連絡を取り、今より円滑に行えるようにしていきたいです。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			○	並行通所している利用児の通う事業所とは連絡を取り合うこともあります。	助言やアドバイスを受けるような機会はないので、お互いの施設を見合える関係作りが出来れば良いと感じています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域の中で交流する機会は増やしています。	他施設との交流はほぼないので、機会があるのであれば検討すべきだと思っています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		○	送迎時を中心にコミュニケーションを取るようしています。また、HUGというアプリを使って指導計画や利用時の様子を伝えし、必要なときは電話や面談等も行っています。	送迎時は時間に追われて丁寧な会話が出来ていないように感じてしまうこともあります。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	広告やオープンキャンパス等のお知らせが合ったときは必要に応じてお伝えしています。	携われないため、わからないことも多々あります。送迎時に家庭でできる支援をお伝えできると感じることあります。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	直接的に保護者支援として関わっていないが、保護者と顔を合わせる時は笑顔で対応し、信頼していただけるよう心掛けています。	契約時にお伝えしています。わからないことがあったときはその都度連絡を取り合い、解決できるようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	モニタリングを通して行っています。	それぞれの役割に徹していると、同僚のしていることが理解できていないです。他の職員が行っていることも知っていききたいと思いま	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		○	モニタリングを通して行っています。	それぞれの役割に徹していると、同僚のしていることが理解できていないです。他の職員が行っていることも知っていききたいと思いま	
	38	定期的な、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○	6ヶ月に1度はモニタリングを通して行っています。必要に応じて電話や面談等の機会を設けて支援を行っているように心掛けています。	それぞれの役割に徹していると、同僚のしていることが理解できていないです。他の職員が行っていることも知っていききたいと思いま	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	二一ズがなく、行っていません。	土曜日や祝日の活動の中で、親子でも楽しんでもらえるような機会を作ったり、出掛け先に赴いてみたくなるような情報共有をしています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	電話や公式LINE、面談等で対応させていただいています。		
	41	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	予定や計画は公式LINEでのお知らせを行っています。日々の活動については、HUGの『活動記録』にて、全体の様子がわかるようお知らせしています。	HUGで保護者へのお知らせはできていますが、利用していない方々への啓蒙にはなると思うのですすめていきたい。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報の記載のあるものは、鍵付きの書庫に保管しています。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	個々に合わせて情報伝達の方法を工夫し、対応させていただいています。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	近隣施設の行事やイベントに参加し、交流の機会を設けています。	近隣の方々を招いた施設行事を行っていません。今後検討していきたいと思っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	職員間で研修等を行い、周知を図っています。保護者に対しては、契約時に説明させていただいております。	様々なシーンを想定して訓練を行ってきたいと考えています。また、行っている様子を公開していきたいと考えています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	定期的に行っています。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	契約時に確認させていただいております。個々の状況に合わせて、処方箋のコピーをさせていただき、緊急時に対応できるようにしています。		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	契約時、面談時に確認しています。		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	ミーティングや研修で周知しています。ヒヤリハットや事故報告書からの振り返りも基にして、対策・改善に努めています。	様々なシーンを想定して訓練も行っていきたいと考えています。	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	契約時に説明をさせていただいております。			

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットや事故報告書からの振り返りを基にして、対策・改善に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修やミーティング等で日々の対応を振り返る機会を設けています。	外部の研修会などあれば参加し知識を深めたいと思っています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に、想定される事象に関して説明をし、承諾書を得ています。また、やむを得ず身体拘束を行った場合は速やかに保護者に報告と状況説明をさせていただいております。	